

令和7年度

入学者募集要項【第2次募集】

入学案内



願書受付期間	令和7年2月12日(水)～2月25日(火)
試験日	令和7年2月27日(木)
合格者発表	令和7年2月28日(金)
入学確認書提出	令和7年3月14日(金)14時
合格者入学手続日	令和7年3月18日(火)

独立行政法人国立高等専門学校機構

八戸工業高等専門学校

National Institute of Technology (KOSEN), Hachinohe College

〒039-1192 青森県八戸市大字田面木字上野平 16 番地 1

TEL(0178)27-7233 (学生課入試・キャリア支援係)

FAX(0178)27-9487 (学生課)

ホームページ <https://www.hachinohe-ct.ac.jp/>

メールアドレス nyushi-o@hachinohe-ct.ac.jp

目 次

○ 八戸高専とは	1
○ 入学者募集要項【第2次募集】	
1. 募集定員	2
2. 出願資格	2
3. 出願手続	2
4. 選抜の実施方法	3
5. 面接試験日時及び会場	3
6. 合格者の発表	3
7. 入学確認書の提出	4
○ 追加合格	4
○ 受験及び入学後に配慮を必要とする者等の事前連絡	4
○ 個人情報の取り扱いについて	4
○ 入学手続等	4
○ 入学案内	
1. 入学時に必要な予定経費	5
2. 入学料・授業料及び寄宿料免除制度	5
3. 高等学校等就学支援金制度	5
4. 高等教育の修学支援新制度	6
5. 奨学金制度	6
○ ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー	7
○ 試験場案内図	8

八戸高専とは

本校は、社会の多様な要請に応えるため、独自の教育目的を掲げ、創造力と開発能力を有する実践的技術者の育成に努めています。この実現のため本科1学科4コース・専攻科1専攻4コースを設置し、具体的に設定したディプロマ・ポリシー(卒業認定の方針)の達成を目指して教育活動を展開し、自己点検し、教育改善を進めています。

教育方針

豊かな教養の基盤の上に得意とする工学専門分野の知識と技術を身につけ、個人の自由と責任を自覚して規律を遵守し、自ら課題を発見しその解決に向けて自ら学ぶ姿勢を持ち、人類福祉の増進と社会の進展に積極的に貢献する創造力豊かな技術者を養成することを教育理念としています。

準学士課程は、教育基本法及び学校教育法に基づき、教養と工学専門分野の知識・技術を身につけるとともに、自ら課題を発見しその解決に向けて自ら学ぶ姿勢を持ち、産業界のニーズに応えられる実践的・創造的技術者を育成することを目的とします。

この目的を達成するため、「誠実・進取・協調」の校訓にのっとり、自立的な人材の育成に主眼をおきながら、ものづくり・システムづくりの専門技術教育を推進します。

○養成しようとする技術者像

本校が養成しようとしている技術者像は、「多角的視野を持ちつつ、実験・測定技術、数理的手法および情報処理技術を基盤に、得意とする専門技術分野の基本的素養を持った、『ものづくり』や『システムづくり』に強い実践的・創造的な技術者」です。

○ディプロマ・ポリシー(卒業認定の方針)とカリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針) (後述、7頁参照)

アドミッション・ポリシー(入学者受け入れ方針)

1. 求める学生像

○1年次入学

- AP1.他人への思いやりができ、責任ある行動がとれる人
- AP2.数学・理科や英語の基礎的な知識を身につけ、主体的に学習する意欲がある人
- AP3.「ものづくり」や「科学・技術」に興味をもち、知的探究心をもって思考しようとする人
- AP4.チームで協力し、技術を通して社会に貢献する夢がある人
- AP5.多様な人々と積極的に対話し、自分の意見や考えを表現できる人

2. 入学者選抜の基本

第1年次入学者選抜

次の四つの方法で選抜します。基礎学力については、本校での学習に重要な数学、理科、英語の成績を重視します。

(1) 国際的エンジニア育成特別選抜

志願者のうち、科学技術や国際交流等に関心がある人を、学力確認検査、実験レポートの作成、並びに面接試験の総合評価によって選抜します。

(2) 推薦選抜

出身中学校長から推薦された志願者のうち、優れた素養と基礎学力を身につけ本校への入学意志が強い人を、推薦書、調査書及び面接試験の総合評価によって選抜します。

(3) 学力選抜

志願者のうち、優れた素養と基礎学力を身につけた人を、学力試験（数学、理科、英語、国語、社会）及び調査書の総合評価によって選抜します。

(4) 帰国子女特別選抜

外国における教育を受けた人で一定の条件を満たす志願者のうち、本校の学習に必要な素養と基礎学力を身につけた人を、学力試験（数学、理科、英語）、作文、面接試験及び調査書等の総合評価によって選抜します。

令和7年度 入学者募集要項【第2次募集】

1. 募集定員

学 科	コ ー ス	募集人員
産 業 シ ス テ ム 工 学 科	マテリアル・バイオ工学コース	6名程度
	環境都市・建築デザインコース	6名程度

(注) 機械・医工学コース、電気情報工学コースでは第2次募集は行いません。

2. 出願資格

出願することができる者は、次の①から③のいずれかを満たし、本校への入学意思が確実な者とします。

- ① 中学校または義務教育学校を卒業した者。(令和7年3月卒業見込みの者を含む。)
- ② 中等教育学校の前期課程を修了した者。(令和7年3月修了見込みの者を含む。)
- ③ 中学校卒業者と同等以上の学力があると認められた者。(学校教育法施行規則第95条)

3. 出願手続

(1) 入学願書受付期間

令和7年2月12日(水)から2月25日(火)まで(郵送の場合も期間内必着とします)

受付時間は、9時から16時まで。

期間内に郵送等ができない場合は、(2)出願書類を受付期間内に nyushi-o@hachinohe-ct.ac.jp へメールで提出したうえで、別途原本を郵送または持参により提出してください。

(2) 出願に必要な書類等

出願に必要な書類は次のとおりです。

なお、①から④までの書類は本校所定の用紙(②調査書、④成績一覧表については記入要領の条件を満たしたもの)を使用してください。

書 類 等	摘 要
① 入学願書・写真票・受験票	本校HPに掲載している所定の様式を印刷(A4)し、必要事項を記入してください。 写真票に貼付する写真は、出願の3ヶ月以内に撮影した上半身、脱帽、正面向きの縦7cm×横5cmの大きさのもの。
② 調 査 書	本校HPに掲載している所定の用紙を使用し、在籍中学校等の長が作成したもの。ただし、本校の推薦選抜又は学力選抜等の志願者用に既に提出している場合は、提出の必要はありません。
③ 検 定 料	16,500円〔納入期間 令和7年2月12日(水)～2月25日(火)〕 本校HPに掲載している「入学検定料振込依頼書」により銀行等に振込み、銀行等から受け取った「入学検定料領収書・受付証明書」を「入学検定料領収書・受付証明書貼付票」に貼り付けて提出してください。

④ 成 績 一 覧 表	本校HPに掲載している所定の用紙を使用し、在籍(出身)中学校等の長が作成したものとし、1校につき1部提出してください。 ただし、本校の推薦選抜又は学力選抜等の志願者用に既に提出している場合、及び過年度卒業生の場合は、提出の必要はありません。
-------------	--

(3) 出願の方法等

- (ア) 出願書類は、封筒の表に「**入学願書在中**」と朱記し、在籍中学校等において一括して提出してください。(書類は、二つ折にしないでください。)なお、郵送の場合は簡易書留で送付してください。期間内に郵送等ができない場合は、(1)入学願書受付期間をご確認ください。
- (イ) 志望コースは募集コースから最大第2志望まで選択することができますが、願書受付後の志望コースの変更は認めません。
- (ウ) 出願手続の完了した者の受験票は、入学願書に記載のメールアドレスへ送信しますので、印刷したものを当日必ず持参してください。また、本校からのメール受信後は、必ず受信した旨返信をお願いします。なお、2月26日(水)13時までにメールが届かない場合は、本校学生課入試・キャリア支援係へ問い合わせてください。
- (エ) 出願書類の提出先

〒039-1192 青森県八戸市大字田面木字上野平 16 番地 1 八戸工業高等専門学校 学生課入試・キャリア支援係 (TEL) 0178- 27-7233 (メールアドレス) nyushi-o@hachinohe-ct.ac.jp
--

4. 選抜の実施方法

入学者の選抜は、調査書の内容及び面接試験により行います。なお、配点は次のとおりです。

評 定				面接点
1 年	2 年	3 年	評 定 小 計	
(数学×2+理科×2 +他教科×1)×1	(数学×2+理科×2 +英語×1.5 +他教科×1)×2	(数学×3+理科×3 +英語×2 +他教科×1)×3		
55	115	210		
				130

5. 面接試験日時及び会場

- (1) 面接試験日 令和7年2月27日(木)
- (2) 面接時間 集合時間等の詳細については、受験票と共に入学願書に記載のメールアドレスへ送信します。
- (3) 面接試験会場 八戸工業高等専門学校

6. 合格者の発表

令和7年2月28日(金)15時に受験番号を本校に掲示するとともに、本校のホームページに掲載します。また、在籍中学校等の長に「合格通知書」等を発送します。

なお、電話等による問い合わせには、応じられません。

7. 入学確認書の提出

在籍(出身)中学校等の長は合格者の意志を確認の上、入学確認書を3月14日(金)14時必着で郵送または持参により提出してください。期限までに郵送等ができない場合は、FAX または電子メールにより期限までに送信したうえで、別途原本を郵送または持参により提出してください。

なお、入学確認書の用紙は、合格通知の際にお送りします。

○ 追加合格

追加合格の有無については、3月14日(金)17時にホームページでお知らせします。

追加合格がある場合は、追加合格者の在籍(出身)中学校等に電話等で連絡しますので、当日は確実に連絡がとれるような措置を講じておいてください。

なお、入学確認書等の手続きについては、追加合格者の連絡の際にあわせてお知らせします。

○ 受験及び入学後に配慮を必要とする者等で入学を志願する場合の事前連絡

本校では、難聴者、弱視者、その他身体の不自由な者及び発達障害等の理由により、受験上及び修学上の支援が必要な者に対して、合理的配慮の提供を行っています。合理的配慮の提供が必要な受験者は、在籍中学校等を通じて、本校学生課入試・キャリア支援係に直接その事情を連絡し、別に、次の事項を記入した「身体等の状況の記録」を作成し、医療機関が発行した健康診断書など、「身体等の状況の記録」に記載した内容を証明する書類を添付して提出してください。

- (1) できるだけ詳細な身体等の状況及び中学校等で配慮している措置
- (2) 受験に当たって配慮してほしい措置
- (3) 入学後、本校において特に配慮する必要のある措置又は指導上留意すべき事項

・提出の時期 令和7年2月21日(金)まで

・提出先 戸工業高等専門学校 学生課入試・キャリア支援係 TEL 0178-27-7233

○ 個人情報の取り扱いについて

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

○ 入学手続等

1. 合格者に対して、令和7年3月18日(火)10時から入学手続を行うとともに、学校の概要等についても説明しますので、保護者同伴で出席してください。
2. 当日出席しない者及び入学料を納入しない者（入学料免除等の申請者を除く）は、入学の意志がないものとして取り扱います。
3. 詳細については、合格通知の際に連絡します。

入 学 案 内

1. 入学時に必要な予定経費

- (1) 入 学 料 84,600円
 - (2) 授 業 料 前期分 117,300円 (年額234,600円)
在学中に改定が行われた場合は、新授業料が適用されます。
 - (3) 寄宿料 (寮生のみ) 複数室 半期分4,200円 (年額8,400円)
個 室 半期分4,800円 (年額9,600円)
 - (4) 学寮諸経費 (寮生のみ)
 - ・学寮運営費 一 般 寮 前期分 約61,800円 後期分約 92,800円
混住型国際寮 前期分 約80,000円 後期分約119,900円
 - ・学寮給食費 1ヶ月分 約29,400円
 - (5) 教科書・教材費 約68,000円～88,000円 (コースによって多少違います。)
 - (6) その他諸経費 約40,000円 (学生会入会金など)
 - (7) 服 装 費 約10,000円 (作業服など)
 - (8) 制 服 男 子 約62,000円
〃 女 子 約58,000円
- ※上記の額は改定される場合があります。

2. 入学料・授業料及び寄宿料免除制度

- (1) 入学前1年以内において、学資負担者が死亡又は風水害等の被災により、入学料の納付が著しく困難であると認められる場合は、本人の申請に基づき、選考のうえ入学料を免除 (全額又は半額) する制度があります。但し、倒産・リストラ等による場合は認められません。
また、経済的理由で入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合には、入学料の徴収を一時的に猶予する制度もあります。
- (2) 経済的理由又は風水害等の災害により、授業料の納付が困難であり、かつ、学業・人物共に優秀と認められる場合は、本人の申請に基づき、選考のうえ授業料を免除 (全額又は半額) する制度があります。
- (3) 学生又は学資負担者が風水害等の災害を受け、寄宿料の納付が困難であると認められる場合は、寄宿料 (月額700円または800円) を免除する制度があります。

3. 高等学校等就学支援金制度

御家庭の教育費負担軽減を図るための、国による授業料支援の仕組みです。本校では1年生～3年生を対象に、保護者の所得に応じて支給され、授業料負担が実質0円になります。

※就学支援金は、学生本人 (保護者等) が直接受け取るものではありません。学校が学生本人に代わって国から就学支援金を受け取り、授業料に充当するものです。なお、授業料は年間234,600円 (月額換算19,550円) です。

【受給資格】

高校等 (高専、高等専修学校等を含む) に在学する、日本国内に住所を有する方が対象です。
ただし、次のいずれかに該当する方は対象となりません。

- ・保護者等の所得について、以下の算定式により計算した額が、30万4,200円以上の方 (年収目

安910万円以上の方)【算定式】課税標準額(課税所得額)×6%－市町村民税の調整控除の額

- ・高校等(修業年限が3年未満のものを除く)を卒業又は修了した方
- ・高校等に在学した期間が通算して36月(定時制・通信制等の場合は別途算定)を超えた方

4. 高等教育の修学支援新制度

令和2年4月から実施された高等教育の修学支援新制度に本校も対象となっております。

学ぶ意欲がある学生で、家計の収入等の要件を満たす場合には、支援区分に応じて、入学科及び授業料の減免と給付奨学金による経済的支援を受けることができます。

制度の詳細に関しましては、文部科学省HPをご確認ください。

5. 奨学金制度

(1) 日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構の奨学金は、経済的理由により修学が困難である優れた学生等に対し貸与又は給付されます。貸与・給付月額や対象者等詳細に関しましては、日本学生支援機構HPをご確認ください。

(2) 八戸工業高等専門学校奨学金

本校では、経済的理由により就学困難であって、人物に優れ、学業に精励している学生に、奨学金を給付する制度があります。

(3) その他の奨学制度

八戸市、青森市等の地方公共団体、各種民間団体、あしなが育英会、交通遺児育英会等の奨学制度があります。

ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー

【ディプロマ・ポリシー】（卒業認定方針）

本校では、以下に示す能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定します。

DP 1. 豊かな人間性の涵養

豊かな教養と幅広い視野を備え、地球環境や人類社会における科学・技術の重要性を理解できる。

DP 2. 数学・自然科学・情報処理知識の修得

数学、自然科学の基礎知識、及び応用数学、応用物理、情報処理に関する知識を身につけ、それらを問題解決に応用できる。

DP 3. 専門知識の修得

得意とする専門分野の知識と技術、及び他の専門分野の基礎知識を身につけ、課題解決に応用できる。

DP 4. 課題発見力・探究心と協働性

自ら課題を発見して探究する姿勢を持ち、協調性を発揮してチームの一員として仕事に取り組むことができる。

DP 5. 地域社会への貢献

地域の課題に関心を持ち、その解決に貢献しようとする姿勢を持つ。

DP 6. 異文化理解とコミュニケーション能力

異文化を理解する姿勢を持ち、討議・発表力と英語基礎力を身につけて研究発表等で活用できる。

【カリキュラム・ポリシー】（教育課程編成・実施の方針）

ディプロマ・ポリシーに掲げた人材を育成するため、一般科目の学修と連携しつつ低学年から専門科目を少しずつ配置する「くさび型教育」の特長を活かし、知識と技術を体験的に身につけられるカリキュラムを編成します。学修の成果は、試験や課題レポートなど、各科目のシラバスに記載された評価方法により評価します。具体的なカリキュラム編成方針は以下のとおりです。

CP 1. 技術者として必要な教養と幅広い視野を身につけるため、国語、数学、英語、理科、社会、体育、芸術などの科目を、低学年を中心に開講する。

CP 2. 専門科目の基礎となる数学、自然科学の基礎知識を身につけるため、応用数学、応用物理、情報処理に関する科目を開講する。

CP 3. 得意とする専門分野の知識と技術を身につけるため、専門基礎及び応用科目の講義と、実験、実習などの体験的授業を有機的に組み合わせたカリキュラムを編成する。さらに、それらを課題解決に応用する能力を育成するため、高学年において創成科目や卒業研究を開講する。

CP 4. 自ら課題を発見し、自立的に探究する姿勢を身につけるため、1学年から5学年に自主探究を実施する。またチーム内での役割を自覚し、協調性を持って仕事に取り組む姿勢を身につけるため、各種の実験・実習や創成科目、卒業研究などにおいて、協働で取り組む内容を設ける。

CP 5. 地域の課題に関心を深めるため、地域志向科目を設ける。また地域の課題をテーマとする自主探究や卒業研究などを奨励する。

CP 6. 討議発表力、異文化理解力を身につけるためにコミュニケーション、英語コミュニケーションなどの科目を開講するとともに、短期海外研修などの機会を設ける。またそれらを活用できる能力を身につけるため、全学年で自主探究のポスター発表を実施するほか卒業研究の英語発表を奨励する。

試験場案内

★ 八戸駅から高専まで（東北新幹線八戸駅から高専まで2.8km）

● タクシー（約5分）

● 南部バス（約10分）

- ・ 八戸ニュータウン・聖ウルスラ学院線（八戸ニュータウン行）高専前下車
- ・ 八戸駅・聖ウルスラ学院線（聖ウルスラ学院行）高専前下車

● 南部バス／市営バス共同運行

- ・ 八戸駅線（司法センター前・田面木・日赤病院経由）（中心街方面行）田面木下車（徒歩10分）

★ 八戸市内六日町から高専まで（J R 八戸線 本八戸駅から高専まで約5 km）

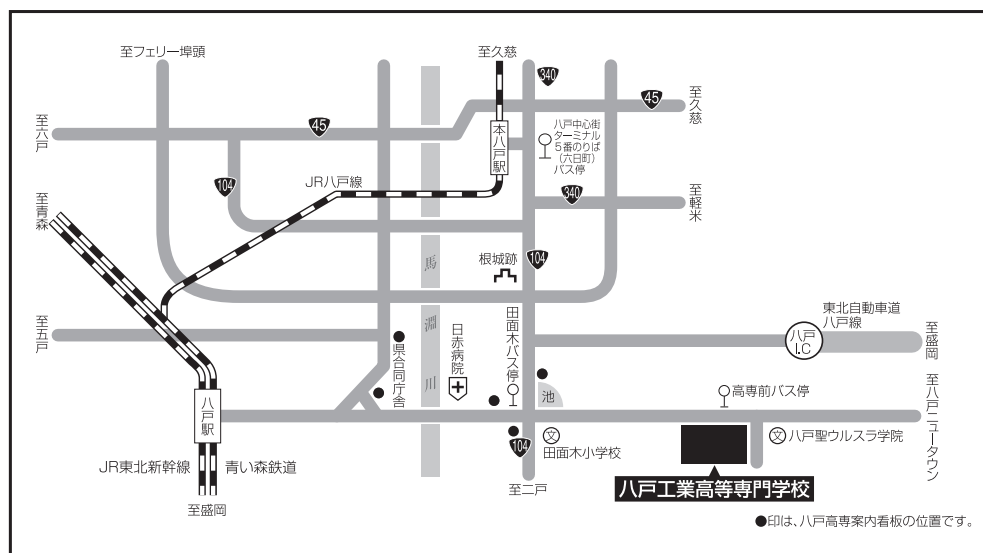
● タクシー（約20分）

● 市営バス（約30分）

- ・ 八戸聖ウルスラ学院線（聖ウルスラ学院行）高専前下車

● 南部バス（約30分）

- ・ 八戸駅線（司法センター・田面木経由）田面木下車（徒歩10分）
- ・ 一日市線（司法センター・田面木経由）田面木下車（徒歩10分）
- ・ 三戸方面線（司法センター・田面木経由）田面木下車（徒歩10分）



入 学 願 書

八戸工業高等専門学校

試験区分		第2次募集	受験番号	※
志望コース		第1志望	コース	
		第2志望	コース	
志願者	フリガナ			
	氏名	平成 年 月 日生		
	現住所	(〒) TEL() -		
	在籍(出身) 中学校等	(校名) 立 学校		
		(志願者) 令和 年 月 卒業見込 ・ 卒業		
		(所在地)		
	(〒) TEL() -			
保護者	フリガナ			
	氏名			
	志願者との続柄	父・母・その他 ()		
	現住所	志願者と同じ場合は「本人に同じ」と記入する。		
	(〒) TEL() -			
受験票 受信アドレス				

(注) 裏面の「記入上の注意」を参照してください。

写 真 票

八戸工業高等専門学校

受験番号	※	
志望 コース	第1志望	コース
	第2志望	コース
フリガナ		
氏名	平成 年 月 日生	
写真貼付 出願の3ヶ月以内に撮影した 正面向き、上半身、脱帽 縦7cm×横5cmの大きさの ものを貼付してください。 写真の裏に氏名を明記してく ださい。 全体をのり付けしてくださ い。		

(切りはなさないでください)

受 験 票

八戸工業高等専門学校

受験番号	※	
志望 コース	第1志望	コース
	第2志望	コース
フリガナ		
氏名	平成 年 月 日生	
試験場所 八戸工業高等専門学校		
試験日時 令和7年2月27日(木) 指定の時刻		

注意

1. ボールペン等(後で消えないもの)により楷書及び算用数字で記入してください。
2. ※欄は記入しないでください。
3. 該当箇所は○で囲んでください。
4. この受験票は大切に保管し、試験日及び入学手続日の際に必ず持参してください。
5. 裏面「受験者心得」をよく読んでおいてください。

記入上の注意

1. ※欄は、記入しないでください。
2. 該当箇所は○で囲んでください。
3. 「志望コース」欄について

①提出後に志望コースの変更はできません。

②コース名は略称の記載でかまいません。

[略称]

マテリアル・バイオ工学コース → マテリアル

環境都市・建築デザインコース → 都市建築

③第2志望がない場合、その欄には斜線を引いてください。

4. 「受験票受信アドレス」について

本校から受験番号を記載後、受験票をメールにて送信しますので、メールアドレスをご記載ください。

(切りはなさないでください)

(切りはなさないでください)

受験者心得

1. 試験当日は、指定の時刻（後日通知する）までに受付してください。
2. 上履きは不要です。
3. 受験票を紛失又は忘れてきた場合は、直ちに試験場本部に申し出て、仮受験票の交付を受けてください。

※その他詳細については、入学者募集要項を参照してください。

調 査 書 記 入 要 領

本校所定の用紙使用のほか、本校所定の用紙と様式・大きさが同じでパソコン等により作成されたものも可とします。（ただし、感熱紙は不可。）
また、調査書用紙は本校のホームページからダウンロードすることが可能です。

1 記入上の一般的注意

- (1) 調査書は、令和6年12月末現在で記入する。
- (2) 数字は、算用数字を用いる。
- (3) 記入する必要のない欄又は記入事項がない欄は、斜線を引く。
- (4) 「校長氏名」の欄の印は職印とする。
- (5) 「第1志望校」の欄は、該当する項目を○で囲む。（合否には影響ありません。）

2 各欄記入上の注意

- (1) 「氏名」の欄には、次のように記入する。
 - ア 戸籍上の氏名を記入する。
 - イ 外国人の場合、日本名による通称がある場合は、外国人の氏名とともにその下に（ ）を付して通称を記入する。
- (2) 「入学・転入学・編入学」については、生徒が第1学年に入学した年月日または転入学・編入学した年月日を記入するとともに、入学・転入学・編入学について該当する文字を○で囲む。
- (3) 「学校名」の欄には、分校の場合、学校名とともにその下に（ ）を付して分校名を併記する。
- (4) 「卒業見込・卒業」については、校長が卒業を認定する予定の年月日又は認定した年月日を記入するとともに、卒業見込・卒業について該当する文字を○で囲む。
- (5) 「転入学・編入学の記録」の欄には、以前在学していた学校名と転・編入学年を記入する。また、海外帰国生徒については、この欄に㊦と朱書したうえ、海外在住地名、海外在住期間を〇〇年〇〇月～〇〇年〇〇月と記入する。
- (6) 「各教科の学習の記録」の欄には、次のように記入する。
 - ア 第1学年及び第2学年の各教科の評定は、指導要録に記載されたものを転記し、「計」の欄には、各学年の各教科の評定の合計を記入する。
 - イ 第3学年の各教科の評定は、次のとおりとする。
 - (ア)原則として、令和6年12月末までの学習に基づいて記入する。
 - (イ)評定は5段階で表し、5段階の表示は、5、4、3、2、1とする。

その表示は、中学校学習指導要領に示す目標に照らして、「十分満足できると判断されるもののうち、特に高い程度のもの」を5、「十分満足できると判断されるもの」を4、「おおむね満足できると判断されるもの」を3、「努力を要すると判断されるもの」を2、「一層努力を要すると判断されるもの」を1とする。

なお、盲学校、聾学校、養護学校中学部及び中学校特別支援学級在籍者の評定については、当該学校の評定方法により記入する。

また、他都道府県からの出願者については、当該都道府県の評定方法により記入する。
 - (ウ)「計」の欄には、各教科の評定の合計を記入する。
 - ウ 「総計」の欄には、学年別評定の合計を記入する。
 - エ 臨時休業等の理由により、評定を記載できない場合は、その理由を付して「記載不可」とする。（例：「新型コロナウイルスに伴う臨時休業のため記載不可。」）
- (7) 「特別活動等の記録」の欄には、次のように記入する。
 - ア この欄には、原則として第3学年について記入するが、第1学年、第2学年において、顕著な活動等がある場合は、そのことについても記入する。
 - イ 「学級活動」、「生徒会活動」、「学校行事」、「部活動」の各欄には、顕著な活動等がある場合、それらの活動状況について具体的に記入する。
 - ウ 「その他」の欄には、学校内外における奉仕活動・表彰を受けた行為や活動等で顕著な活動がある場合、それらの活動状況について具体的に記入する。

- エ 臨時休業や大会の中止等により記載できない場合は、その理由を記入する。(例：
「〇〇〇に参加予定であったが、新型コロナの影響により中止。」)
- (8) 「**資格・特技**」の欄には、取得している資格及び特技について**具体的に記入**する。
- (9) 「総合的な学習の時間の記録」の欄には、学習活動や評価の観点、生徒にどのような力が身に付いたかなどを文章で記述する。原則として、第3学年の学習に基づいて記入するが、第1学年、第2学年において顕著な取組等がある場合は、そのことについても記入する。
- (10) 「総合所見及び指導上参考となる諸事項」の欄には、生徒の状況を総合的に把握する上で参考となる次のような事項などについて記入する。
- ア 各教科等に関する所見
 - イ 行動に関する特記すべき事項及び所見
 - ウ 生徒の人柄や特徴に関する所見
 - エ 生徒の成長の状況に関わる総合的な所見
 - オ 無欠席、無遅刻、無早退等特筆すべき事項
 - カ (7)、(8)において書ききれない事項
- (11) 「欠席の状況」の欄には、次のように記入する。
- ア 「欠席日数」の欄には、各学年ごとの欠席日数を記入する。
 - イ 同一学年において7日以上欠席がある場合には、その理由を備考欄に記入する。
- (12) 「健康等に関する特記すべき事項」の欄には、次のように記入する。
- ア 健康や身体等の状況に関し、特記すべき事項や指導上参考となる諸事項がある場合は、それを記入する。
 - イ 事前連絡において、「身体等の状況の記録」を提出した者については、(「身体等の状況の記録」提出)と記入する。
- (13) 令和6年3月以前に中学校又はこれに準ずる学校を卒業した者については、各教科の評定等は生徒指導要録に記載されたものを転記し、その他は、生徒指導要録に記載された内容をもとに、(1)～(12)に準じて記入する。

◎ コース名は略称の記載でかまいません。

[略称]

マテリアル・バイオ工学コース → マテリアル

環境都市・建築デザインコース → 都市建築

成 績 一 覧 表

学 年	教 科 評 定	国 語	社 会	数 学	理 科	音 楽	美 術	保 体 健 育	技 術・ 家 庭	外 国 語
第 1 学 年	5	人	人	人	人	人	人	人	人	人
	4									
	3									
	2									
	1									
	計									
第 2 学 年	5									
	4									
	3									
	2									
	1									
	計									
第 3 学 年	5									
	4									
	3									
	2									
	1									
	計									
令和 年 月 日		中学校名 (分校名)					校 長 氏 名	印		

《作成要領》

本校所定の用紙使用のほか、本校所定の用紙と様式・大きさが同じでパソコン等により作成されたものも可とします。（ただし、感熱紙は不可。）

また、成績一覧表用紙は本校のホームページからダウンロードすることが可能です。

1. 令和6年12月末現在で作成し、在学する第3学年の普通学級在籍者全員（長期欠席その他の理由により令和7年3月卒業の見込みがない者を除く。）について、第1学年及び第2学年における各教科の評定並びに第3学年12月末現在の各教科の評定別人数を記入する。
2. 「令和 年 月 日」欄には、作成年月日を記入する。
3. 「校長氏名」の欄の「印」は職印とする。

令和7年度入学者選抜試験

入学検定料領収書・受付証明書貼付票

八戸工業高等専門学校

種 類	コ ー ス 名	氏 名
本 科 (再募集)		

注 銀行の出納印のあるC票「入学検定料領収書・受付証明書」の裏面にのりをつけて貼り付けてください。

※ ゆうちょ銀行からの振込の場合は、「振込依頼書（お客さま控）」の裏面にのりをつけて貼り付けてください。

入学検定料の納入について

◎ 入学検定料をゆうちょ銀行から振り込む場合は、別紙の「入学検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合の注意点」をご参照ください。

◎ 入学検定料をゆうちょ銀行以外の銀行等から振り込む場合は、次のようにお願いします。

1. 入学検定料は、必ず下記の本校指定の「入学検定料振込依頼書」を利用ください。なお、振込の際は別途手数料が必要となります。
2. 入学検定料の振り込みは、下記振込用紙のＡ票・Ｂ票・Ｃ票の「志願者」欄を記入のうえ、銀行等（ゆうちょ銀行を除く。）の窓口にて振込み願います。
ただし、ＡＴＭからの振込はしないでください。
3. Ｃ表の「入学検定料受付証明書」は、「入学検定料受付証明書貼付票」に貼付のうえ、願書受付期間内に本校に提出してください。
4. 納入期間 令和7年2月12日(水)～令和7年2月25日(火)まで

本件に関する問い合わせ先：総務課財務係 TEL 0178－27－7228

A票

入学検定料振込依頼書

八戸工業高等専門学校

ご依頼日			令和 年 月 日			電信扱						
振込先	青森みちのく銀行	預金種目	普通	口座番号	2005038	入学検定料	¥	1	6	5	0	0
	八戸支店	振込手数料										
受取人	フリガナ	コウセンキコウホンブ										
	氏名	高専機構本部										
志願者	フリガナ											
	氏名											
	住所	(〒 -) (TEL - -)										

出納印

※ 取扱金融機関へのお願い

1. 当日中に取扱いくさるようお願いいたします。
2. 出納印は、Ａ・Ｂ・Ｃ票への３ヵ所にもれなく押印してください。
3. Ｂ票は、取りまとめ店を経由して八戸工業高等専門学校へ通知願います。
4. Ｃ票は、必ず志願者(振込人)にお返しください。

(取扱店保管)

B票

入学検定料振込通知書

八戸工業高等専門学校

依頼日		令和 年 月 日	
入学検定料		¥ 1 6 5 0 0	
振込先		青森みちのく銀行八戸支店	
受取人	フリガナ	コウセンキコウホンブ	
	氏名	高専機構本部	
志願者	フリガナ		
	氏名		
住所	住所	(〒 -) (TEL - -)	

出納印

(取扱店→取りまとめ店(青森銀行八戸支店)→八戸高専)

C票

入学検定料領収書・受付証明書

八戸工業高等専門学校

依頼日		令和 年 月 日	
入学検定料		¥ 1 6 5 0 0	
振込先		青森みちのく銀行八戸支店	
受取人	フリガナ	コウセンキコウホンブ	
	氏名	高専機構本部	
志願者	フリガナ		
	氏名		
住所	住所	(〒 -) (TEL - -)	

振込手数料

出納印

(入学検定料受付証明書貼付用)

入学検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合の注意点

入学検定料は郵便局（ゆうちょ銀行）からも振り込むことができますが、以下の条件を満たす必要がありますので、ご注意ください。

- 1) ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は口座からのみ可能で、**現金による振込は出来ません**。
ご利用の際は、『通帳とお届け印』または『キャッシュカード』が必要です。
- 2) ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は、募集要項に添付されている振込依頼書を使用することはできません。窓口で「ゆうちょ銀行専用の振込依頼書（以下参照）」を受け取り、記入いただく必要があります。
- 3) 振込後は「振込依頼書（お客さま控）」を受領してください。
- 4) 「振込依頼書（お客さま控）」は「入学検定料領収書・受付証明書貼付票」に添付のうえ、願書受付期間内に本校に提出してください。

※ゆうちょ銀行専用の振込依頼書（サンプル）

振込依頼書(兼振替払出請求書) [電信扱い]

※太枠からはみ出ないようにボールペンではっきりとご記入ください。 ※印押欄は、該当の項目にレ印をつけてください。
△ 繰上口座の場合は通帳に記載のある方のみご記入ください。

ご依頼日	年	月	日	※料金は、振込金とは別に、払出口座の預り金からいただきます。 ※お受取人負担のお取扱いはできません。
------	---	---	---	---

金融機関名	☐ 銀行 ☐ 信金 ☐ 信組 ☐ 農協 ☐ その他			支店名	支店	
	預金種目 ☐ 普通(現金) ☐ 2当座 ☐ 4貯蓄 ☐ 9その他		口座番号	金額	※金額の頭部に「¥」をご記入ください。	
お受取人フリガナ	振込金額				5万円未満	5万円以上
おなまえ	料金(消費税込)				648円	864円

おところ郵便番号				
フリガナ				
おなまえ				
日中ご連絡先電話番号	通知番号			
記号	番号(左詰めでご記入ください)			
払出口座番号				
おところ郵便番号	※口座名義人がご依頼人の場合、ご記入は不要です。			
おなまえ				

科目	取扱年月日	取扱時間	支払場所 代行店番号
	取扱店番号	処理番号	
請求種類	お受取人 おなまえ	振込先	様
		お受取人 おなまえ	
払出口座番号	払出口座 名義人 (代理人)	払出金額	様
	ご住所	払出明細番号	
振込金額		円	円(消費税等を含む.)
合計金額		円	

<取扱店使用欄>

①枚目

②枚目

③枚目

④枚目

⑤枚目

⑥枚目

⑦枚目

⑧枚目

⑨枚目

⑩枚目

OCRA用

(取扱郵便局・取扱店→受付時全事務センター)

〒640000(27-TF)

ゆうちょ銀行